

井川の魅力 ロゴで表現

静岡文化芸術大生

静岡文化芸術大(浜松市中区)の学生が考案したロゴやシンボルマークの図案を使い、静岡市葵区井川地区の魅力を外に発信する井川地域デザインプロジェクトの最終報告会が18日、同市役所静岡庁舎で開かれた。発表された図案は今後、同地区内の施設や店舗で活用される。

報告会では、同大デザイン学部4人(4年)が「家紋をモチーフに船の帆と湖面をイメージした」と井川湖渡船のシンボルマークの制作意図を解説。「待合所が皆の集う魅力ある場所というところをアピールでき

関係者らに図案提案

たら」と、発表を聞きに訪れた井川地区住民や行政関係者に呼びかけた。

同プロジェクトは、物事の理念や価値をロゴやシンボルマークで表現して分かりやすく人々に伝える「V.I(ビジュアル・アイデンティティ)」をまちおこしに活用しようという取り組み。県内の大学



井川湖渡船のロゴマークの制作意図を話す落合さん(静岡市役所静岡庁舎)

などでつくる「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」が助成するゼミ学生等地域貢献事業の一環として実施された。

(写真部・坂本豊)